

4月15日(火)「大事な命を守るために」～避難訓練～



机の下にしゃがみ、自分を守る



頭を守り、すばやく避難



訓練を終えてのふりかえりの掲示

事故や災害などの危機は、いつ、どこで、どんなときにやってくるかわかりません。また、危機に遭遇したとき、すぐ近くに大人がいるとも限りません。その意味で、たった一つの大事な命を守るには、子どもたち自身の「危機対応力」をしっかり育てておく必要があります。避難訓練は、その力を高める絶好の場です。

緊張感に欠けた前回訓練の反省を生かし、今回は事前指導を入念に行ったこともあり、とても真剣に訓練に取り組む姿が見られました。今回は、「地震発生」→「火災発生(二次災害)→避難」という流れでした。いざという時に重要なことの一つに「聞くこと」があります。「どこで火災が発生したのか」—この大事な情報が聞き取れないと、避難経路を間違え、命取りになります。

ただし、この「聞く力」は一朝一夕には身に付きません。ですから、普段の授業や生活の中で、友達や先生の話をしっかり聞く習慣、そして必ず反応する(思考する)習慣を身に付けてほしいと思います。